るが、誰かがいつも私の部屋で烏鷺を斗わせて居る。私の烏が鷺に変身する事は到底望むべくもないのは絶えず白鷺の長いくちばしでつつきさいなまれて悲鳴をあげ続けて居るからで、それこそ「烏の鳴かぬ日はあっても、烏の悲鳴の聞えぬ日はない——」と洒落にもならぬ変な繰り言でこの稿を結ぶ事とする。

（第四話完）

金子直吉学長の思い出

松井タケヨ

正月二十一日に辰巳会本部で金子直吉様の三十年祭が取り行われるとの事を嶋内幹事さんからお聞きして

▲町田三郎氏描く“金子直吉翁肖像”

昔主人から大金子様のお話を聞かされていた頃が懐しく思い出されてその事を書かせて戴きます。鈴木商店では若い人達が大金子様らの薫陶で多数の人材を出されたので鈴木商店のこの人達は恆に「金子大学卒業生だ、僕自身も金子大学生の一員だ」と誇りを感じておりましたので金子様の事をこの度「学長の思い出」と題しました。

先ず第一の事は、或る時会社で主人が学長のお伴をして商売を見習っておりました頃の話でありますが、学長が内栄町時代のお若い頃、砂糖袋の受渡しの看貫を受け持たれた時、売り方の仲仕が看貫に足をのせて行くのに気付かれ、計りがピンと上るので学長の細い目が光り出し、看貫が終り間屋の店員が総計何貫何程と口に出した途端「おい今日は仲仕の脚のこらずおいて行け、お前達にはだまされんワイ」と申され、相手の顔を真赤にさせました。つまり商売の受渡しには細心の注意が肝要だと云う事を説かれました。

世にあらせられた時は天下を動かされた学長。鉄ぶち眼鏡を通したあの細い眼と髪を短かく刈られた頭で如何に商法にたけていられたか非凡と云うよりことばが出ません。

次ぎは四十年前に主人に羽幌炭砿の鉱区の権利を北海道拓殖銀行より返していただく様に命令を受けて北海道へ一家が赴き、ご命令通り無事鉱区の取り戻しが出来、直に炭砿の開発に拍車をかけられました。

或る年の正月赤地に金粉を散らした短冊に「この春は黄金の山の麓かな片水」と認められたのを床柱に飾って喜びあった頃が今尚楽しく思い出されます。（故松井元氏未亡人）

四八、一〇、一六 大安日記す

☆

☆

☆

平和記念絵葉書
逓信省発行大正八年七月一日

☆

☆

謹賀新年

昭和49年 元旦

会社専用宿泊ルームを計画しております
御利用の方は御相談下さい
芦屋市前田町七—一四
男子学生寮(有) 藤田コーポ
藤田健作
電話（〇七九七）三二—三〇五五

自動車用各種ホース・高圧及び超高圧ホース・ライニング・エキスパンションジョイント・塗　料・ナイロンコーチング

NICHIRIN
日輪ゴム工業株式会社
取締役社長　鈴　木　治　雄

本社　神戸市生田区江戸町98　江戸町ビル3階
TEL 331 — 6 5 4 3
工場　姫　路・厚　木
支店　東　京

日本精化株式会社
取締役社長　和井田統一郎
神戸市東灘区本山南町
四丁目四番二六号
電話神戸(078)451—3981(代)

豊かな経験——すぐれた技術
帝人製機
大阪本社 大阪市東区北浜3-7-3☎06(202)0371
東京本社 東京都中央区銀座6-14-4☎03(543)4611
営業品目　省力機械　油圧機器　工作機械
化繊合繊機械　航空機部品

TOYO PLUS
SWAGEFORM*
TAPPING SCREW
スエージ形タッピンネジ
東洋プラス
スクリュー株式会社
取締役社長　藤岡清俊
本社茅ケ崎工場　神奈川県茅ケ崎市室田100番地
電話茅ケ崎 ㊽ 3111代表

砂糖・麦粉・澱粉・水飴・食用油　卸商
会社創立　昭和21年1月
資本金 1,000万円
三友商事株式会社
代表取締役　牧野豊二
小樽市花園4丁目14番5号
電話　代表　23—6216

輸出入・国内販売
TEISHO
帝人商事株式会社
取締役社長　西田　博
本　社　大阪市東区南本町1丁目13番地
支　店　東京・足利・福井・京都
営業所　名古屋・岐阜・桐生・三原・岩国・徳山・松山
海外事務所　ニューヨーク・ハンブルグ・バンコック・ジャカルタ・ホンコン・ソウル